

~ 13
 3679
 4



門 13
號 3679
卷 4

山 雞 奇 譚

四編 之上

西馬譯 芳細画

紅英堂上梓

廿寸直画



山鳥の巻の末
めりあはしむ
意匠の川
増巻区事

くし秋の夜も心つらき人目も村も枯朽る冬のはじ
例のさけみ今一びの言はれぬ紅英堂のつらさ
流しその日備但重くたのじ草履を
増巻区事をさせし所を中津の船よりかきかへん
てくる事かきかへん所を中津の船よりかきかへん
たる舟の程も手紙もくつをほくも船もかきかへん
あしつけのよと四編の終末を散せし業もくつ
海苔のよもくつを散せし業もくつ

赤糸六の巻
しつとせ物さ
樂
西馬戲述

姐板お
あり
琴工
河島
うら
ま
七
西馬

月夜

よりの
まの
庭は
の
溪

梅子

熊谷

倭文



倭文妻玉琴
凶賊石見
妾とある圖





志賀

老狐山
伊文夫
旧恩

手いけ
形
気
根

風情

老賊
石見
太郎

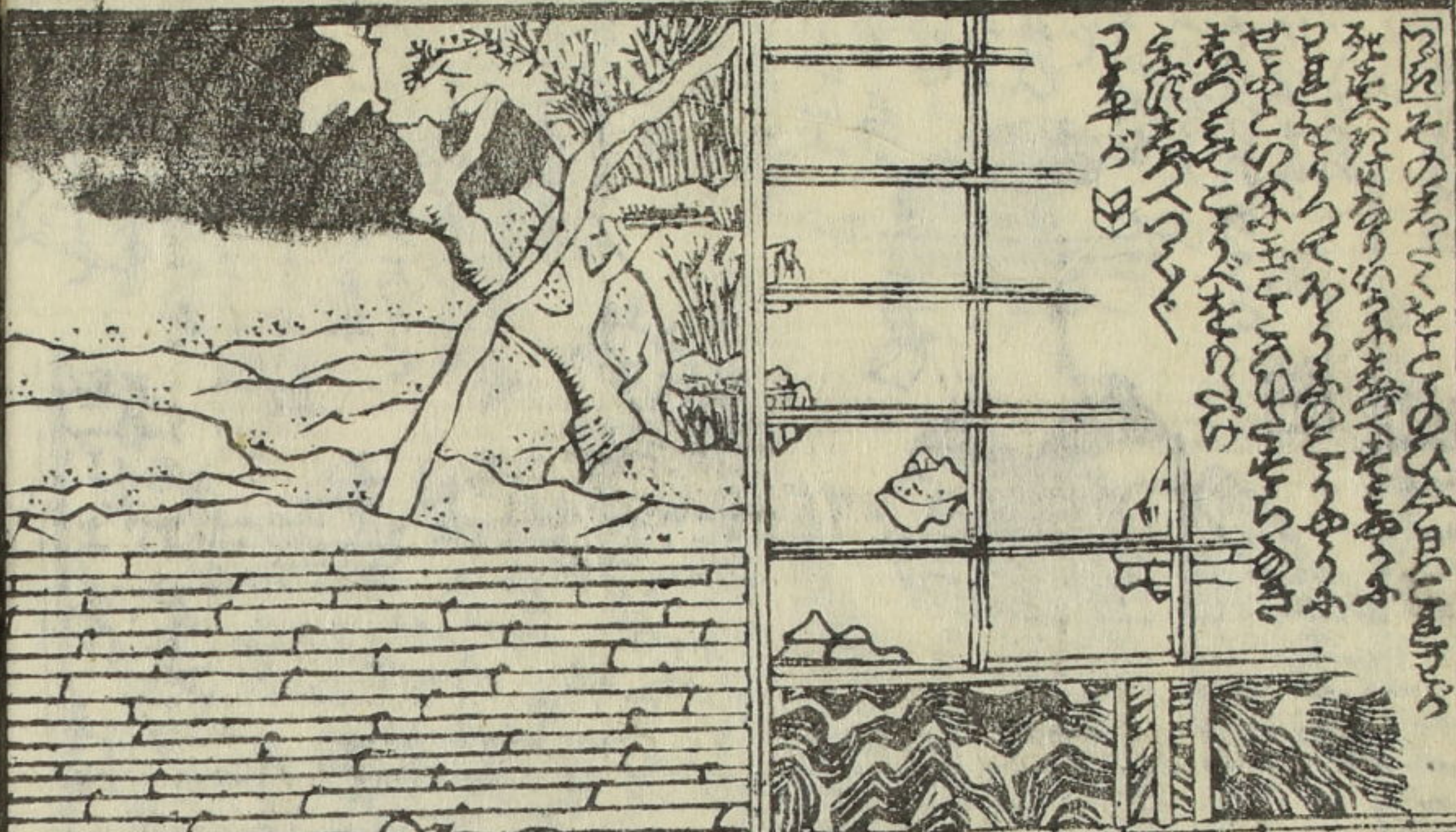
主琴
老狐導
仮不歌

石見
夜及五郎

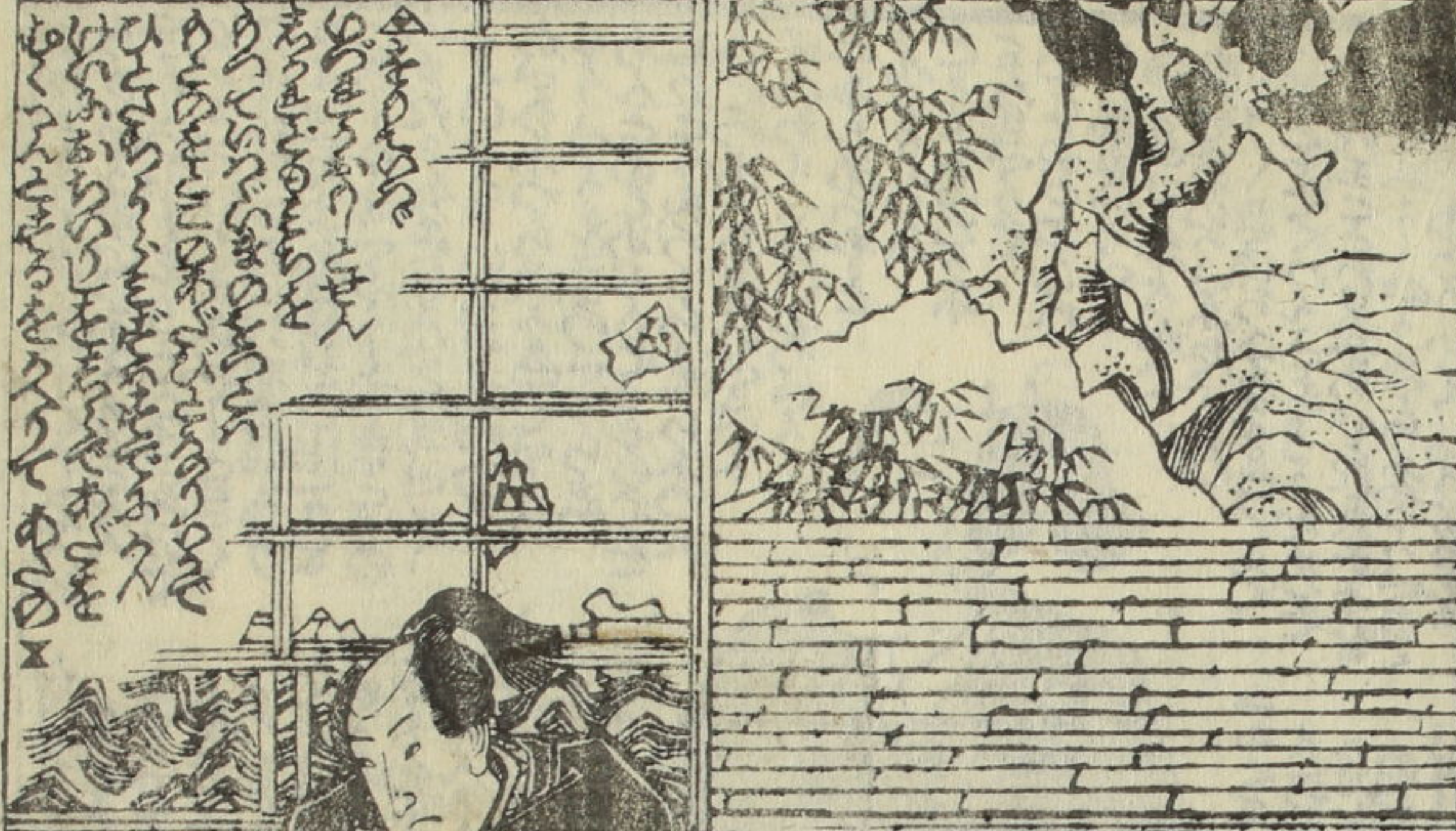
老狐
雌王

山崎

Vertical text in the top right corner of the right page, likely a title or introductory text.



Vertical text columns on the right page, surrounding the illustration of the women.



Vertical text columns on the left page, surrounding the illustration of the man and woman.



三中人... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文...



山鏡... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文...

玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文...



玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文...

山鏡... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文... 山鏡... 玉琴... 倭文...

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, likely a title or introductory text.

倭文



輪平

Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, continuing the narrative or providing context.

勝手



五琴



西馬文補芳網画圖

家本實母散

ね方実母さんて中が 一切の妙也 南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝輔製
向方さん引さるる中が 一切の妙也 南傳馬町二丁目西側 千葉堂孝輔製

中稿

御免六抽積湯 せんきりの妙系

御用藥所 信州上田東山堂製

せんきりの妙系 一匁
せんきりの妙系 一匁
せんきりの妙系 一匁
せんきりの妙系 一匁

大日本國郡輿地全圖 大奉書 六枚綴 府郷御江戸繪圖 同新 六枚綴

はらおん 取次所 繪草紙問屋 江戸南傳馬町二丁目 萬屋吉藏

西馬譯
芳網画

山
香
緣

第四編

紅英堂
上梓





南傳馬
紅英堂梓

四編下



每日鑑

瑞雲堂
上卷

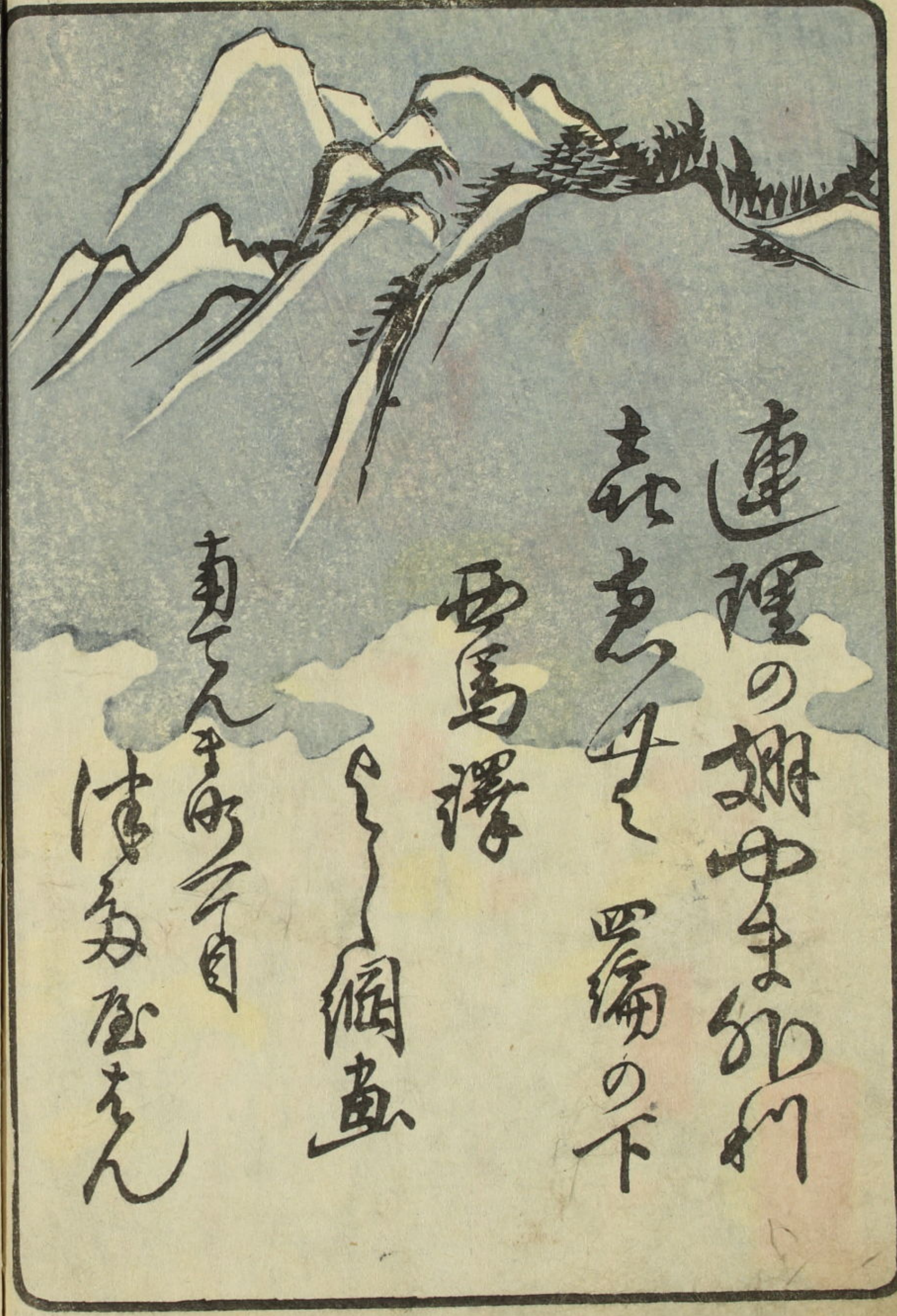


上
下
西

上の山は公の山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...

あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...

あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...
あつたはるの山なりて...



連理の朝やまゆり
赤きさき 四編の下

西馬澤

〜 佃島

東てんまゆり目
はあををん





Handwritten text in the upper section of the right page, including a small square icon.

Handwritten text in the middle section of the right page, including a small square icon.

Handwritten text in the lower section of the right page, including a small square icon.



Handwritten text in the upper section of the left page, including a small square icon.

Handwritten text in the middle section of the left page, including a small square icon.

Handwritten text in the lower section of the left page, including a small square icon.



Handwritten text in the top right corner of the page, including the number '七'.

Handwritten text in the middle right section of the page, describing the scene.

Handwritten text in the middle left section of the page, describing the scene.

Handwritten text in the bottom right section of the page, including the number '十三'.



Handwritten text in the top left corner of the page.

Handwritten text in the middle right section of the page, describing the scene.

Handwritten text in the middle left section of the page, describing the scene.

Handwritten text in the bottom section of the page, including the number '十四'.



夜叉五郎
石見太郎

おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに



玉琴

おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに

おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに
おんちやあまのついでに









Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, located above the illustration of the woman reading.

Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, located below the illustration of the woman reading.



Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, located above the illustration of the woman reading.

Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, located below the illustration of the woman reading.

嘉永六年癸丑新春新編目錄

大晦日曙草紙 十九編 京山作 九編 芳綱画	八犬傳大の紙 七編 仙果録 三編 豊国画 三編 國貞画	御贄美少年始 八編 一九録 九編 國綱画	俠客傳仙摸略説 八編 西馬譯 九編 國輝画 十編 國綱画	嶋巡浪間朝祭 五編 種夏譯 六編 國輝画	古今草紙合 九編 仙果作 十編 國輝画
連理翅山雞奇縁 三編 西馬補 四編 芳綱画	松浦船水棹婦言 初 仙果録 二 國芳画	八車撫子果物語 初 仙果録 二 國貞画	花養空梅雅物語 初 西馬譯 二 國輝画	春柳錦花四 五編 一九録 六編 芳綱画	地本問屋為屋吉藏板 東都南傳馬町一丁目

一登齋芳綱画 樂亭西馬文補



